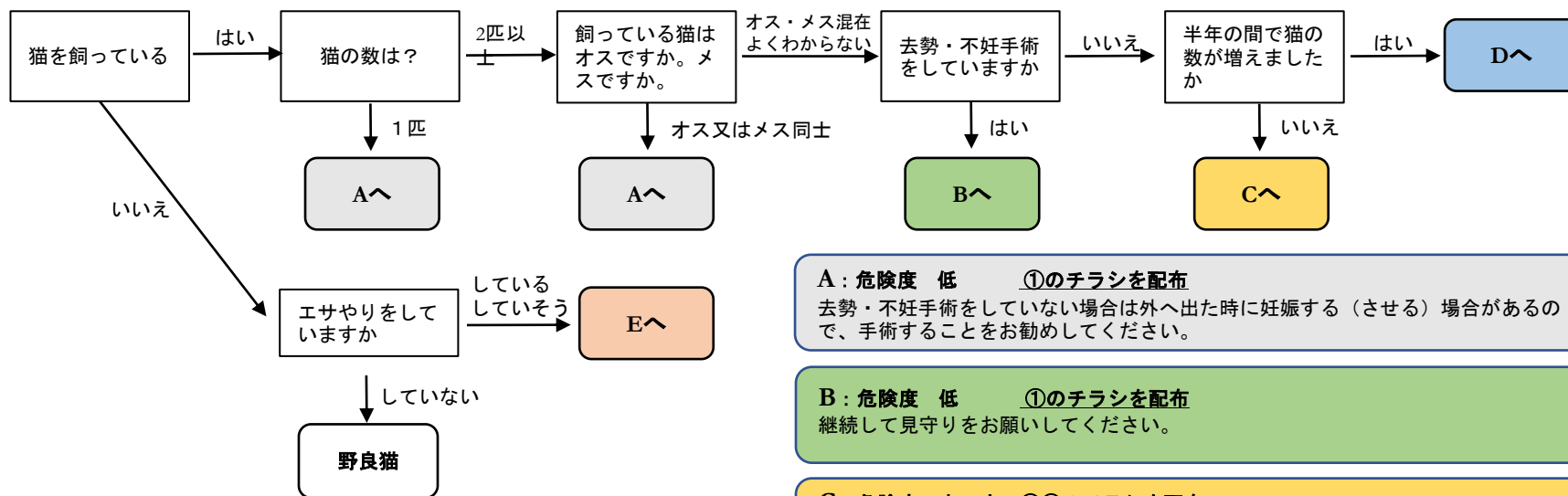


多頭飼育問題危険度判定フローチャート



A：危険度 低 ①のチラシを配布
去勢・不妊手術をしていない場合は外へ出た時に妊娠する（させる）場合があるので、手術することをお勧めしてください。

B：危険度 低 ①のチラシを配布
継続して見守りをお願いしてください。

C：危険度 中～大 ①②のチラシを配布
猫の管理ができなくなると爆発的に増える可能性があるため、去勢不妊手術や雌雄の分別飼育をお勧めしてください。また、定期的な見守りをお願いします。

D：危険度 大 ①②のチラシを配布
放っておくと多頭飼育問題に繋がります。去勢不妊手術や雌雄の分別飼育をお勧めするとともに、現状確認、飼育指導を行うので動物愛護センターへ御相談ください。

E：危険度 大 ①②③のチラシを配布
放っておくと爆発的に増える可能性がありますので、動物愛護センターへ御相談ください。

このフローチャートを使うことで、多頭飼育に陥る危険度を確認してください。問題に発展する前に、進行を止めるための啓発や関係機関に相談することが大切です。

配布いただくチラシの種類

- ①「猫は室内で飼おう！」
- ②「不妊去勢手術をして飼いましょう」
- ③「無責任に餌をあげるのはやめましょう」

多頭飼育問題とは？

多数の動物を飼育している中で、適切な飼育管理ができないことにより、3つの影響（①飼い主の生活状況の悪化、②動物の状態の悪化、③周辺の生活環境の悪化）が生じている状況をいいます。

猫は室内で飼おう!

室内飼育のメリット

- ① 交通事故に会う危険がない
- ② 感染症にかかる危険が少ない
- ③ ご近所トラブルが少なくなる
- ④ 虐待などの被害にあうことがない

室内飼育のデメリット

- 猫が退屈しやすい
- ▶ 環境を整え飼い主がコミュニケーションをとることで、猫は室内飼育でも十分に幸せに暮らせます!!

猫に快適な室内環境

室内の安全対策

- 知らないように、扉や扉の戸締りを確認しましょう。
- 口にすると危険なものを片づきましょう。(電気コード、観葉植物など)



外を眺める場所

窓の外を見るという刺激が、猫の心を癒やしてくれます。与えられ、「退屈」を感じにくくなります。



くつろげる場所

柔らかい布の上、暖かな場所を好みます。



隠れ場所

猫は本来臆病な動物です。隠れたときに猫が逃げ込めるスペースを用意しましょう。



トイレ

猫は非常にきれい好きで、トイレにこだわりがあります。



上下運動

上下運動や動き回れる空間があると、猫は自分でエネルギーを発散できるため、興奮行動の予防になります。



入り組んだ動き回れる空間

猫は自分でエネルギーを発散できるため、興奮行動の予防になります。



爪とぎ

猫は爪とぎの習性があります。家具や柱などで爪を研がないように、専用のものを用意しましょう。



ケージ

子猫のうちから習慣づけて上手に使うとよいでしょう。災害時や入院時にも役に立ちます。

飼い主とのコミュニケーション

室内飼育されている猫の場合は他の社会や動物との接点がないので、その分飼い主が毎日コミュニケーションをとり、かまってやる必要があります。声かけたり、なでたり、おもちゃを持って遊んだりする時間を作りましょう。



不妊・去勢手術をして飼いましょう



動物は本能で繁殖を行い、自らの意思で繁殖をコントロールすることはできません。望まれない命を生み出さないためにも、責任を持って世話ができる頭数を飼育しましょう。



不妊・去勢手術の主な利点と欠点

	不妊手術(卵巣と子宮の除去)	去勢手術(精巣の除去)
利点	<ul style="list-style-type: none"> ● 望まない妊娠がなくなる ● 卵巣や子宮の病気や乳腺腫瘍などの予防 ● 発情期特有の喧嘩行動がなくなる(大きな鳴き声、トイレ以外の排泄、外に出たがる、神経質になる等、犬では発情に伴う出血もなくなる) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 精巣や前立腺、肛門周囲の病気の予防 ● メスの興味による性的ストレスの軽減 ● 発情期特有の喧嘩行動がなくなる(大きな鳴き声、無断吠え、マーキング、ケンカ、攻撃性、脱走など)
欠点	<ul style="list-style-type: none"> ● 手術には全身麻酔のリスクがあるが、適切な麻酔管理で軽減できる ● 肥満傾向になるが、適切な食料管理と運動で防げる ● メスでは採失精が起きる場合があるが、治療できる 	

1頭のメス猫が...



1年後には20頭以上



2年後には80頭以上



3年後には2000頭以上



- メス猫は生後4-12ヶ月で子猫を産むようになり、年に2-4回繁殖があり、猫に1-2頭の子猫を産みます
- メス犬は生後8-9ヶ月で子犬を産むようになり、年に約2回繁殖があり、猫に3-10頭の子犬を産みます



無責任に餌をあげるのはやめましょう



これはダメ!!



正しくはこちら

自治体に引き取られる猫のうち約7割が子猫です。不妊去勢手術、排泄物や残飯などの清掃を行わず、かわいそうだからと餌責任に餌だけを与える行為は、本当に猫にとって幸せなことでしょうか?



チラシ①
猫は室内で飼おう!

チラシ②
不妊・去勢手術をして飼いましょう

チラシ③
無責任に餌をあげるのはやめましょう



STOP!多頭飼育問題
(青森県庁HP)